

## 1. 令和5年度 科内目標

### 《 業務目標 》

1. 業務の効率化を図る  
個々の業務内容の再確認を行い、業務効率の検討を行う
2. 脳血管外科新設への対応を継続する
  - ①脳外科手術の開始、術後リハビリの標準化を進める
  - ②脳卒中パスの運用検討を行い、最適化を進める
  - ③脳外科回診・カンファレンスを開始して標準化する
  - ④脳外科術後リスク管理等の勉強会の開催
3. 新電子カルテへの切り替え
  - ①新電子カルテシステムのリハビリ関連業務の標準化
  - ②書類等の仕様の調整と周知
  - ③運用内容確認と標準化
4. 休日リハビリ対応の継続  
月曜日から土曜日まで充実したリハビリテーション提供を継続する  
土曜日は3名体制、祝日は2名体制を継続する
5. 他部署との連携強化
  - ①病棟担当療法士の配置を検討し、医師・看護師・その他スタッフとの窓口業務を進める（回診の同行・カンファレンス開催・退院調整時の情報提供など）
  - ②カンファレンス運用の見直しを行い、看護計画に生かせる取り組みを継続する
  - ③脳外科病棟との合同研修の開催

### 《 数値目標 》

1. 療法士1人の1日あたり算定単位数年間平均18単位を目指す
2. 業務の効率化を行い、時間外時間の是正を図る。1ヶ月1人10時間以下を目指す。

## 2. 診療体制（施設基準・特徴・臨床活動）・スタッフ

当科は、外来スペースにリハビリ室1(81.04㎡)と言語聴覚室(10.62㎡)、4階病棟に心疾患リハビリテーション室(32.63㎡)、5階病棟にリハビリ室2(16.43㎡)、6階病棟にリハビリ室3(16.43㎡)を設けている。

### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅡ  
廃用症候群リハビリテーションⅡ  
運動器疾患リハビリテーションⅠ  
呼吸器疾患リハビリテーションⅠ  
がん患者リハビリテーション  
心大血管疾患リハビリテーションⅠ

スタッフ 15名

医師 1名

理学療法士 7名

作業療法士 4名

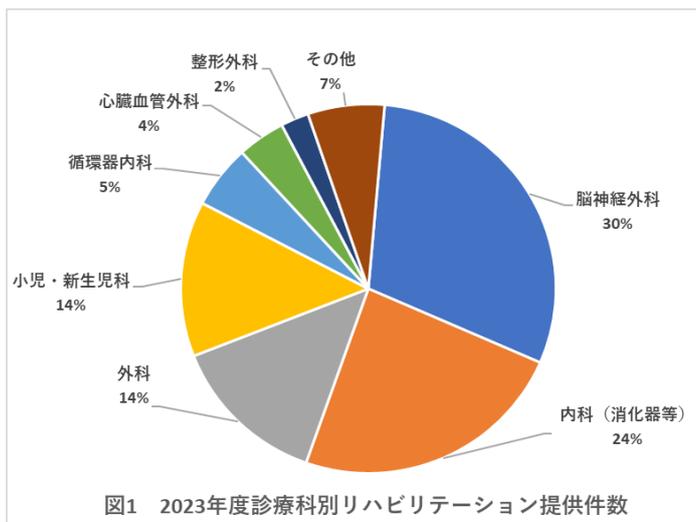
言語聴覚士 2名

事務補助員 1名

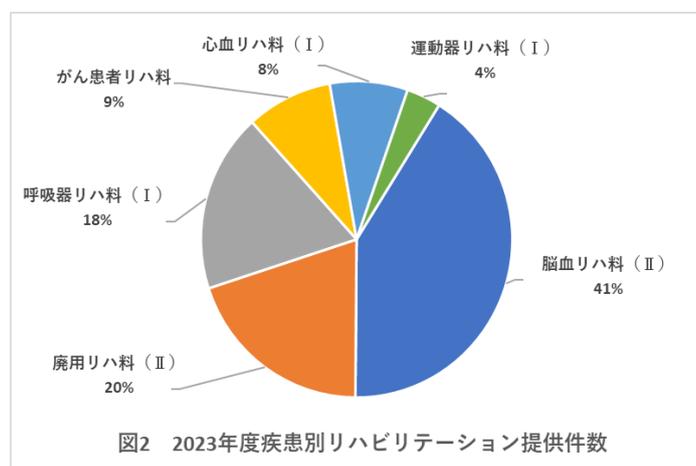
リハビリテーション部門として、月曜日から土曜日まで連続したリハビリテーションを提供している。

### 3. 年間統計

診療科	延べ件数
脳神経外科	6250
内科（消化器等）	4938
外科	2833
小児・新生児科	2821
循環器内科	1150
心臓血管外科	856
整形外科	502
その他	1369
総計	20719



疾患別リハ	延べ件数
脳血リハ料（Ⅱ）	8543
廃用リハ料（Ⅱ）	4116
呼吸器リハ料（Ⅰ）	3791
がん患者リハ料	1853
心血リハ料（Ⅰ）	1677
運動器リハ料（Ⅰ）	739
総計	20719



### 4. 1年間の総括

リハビリテーション科スタッフはPT1名・OT1名が増員され、育休していたST1名も復帰したことで、PT7名・OT4名・ST2名の13名体制となった。しかし7月からPT1名が産休・育休に入り、12名体制での業務遂行となった。

数値実績では、全体の患者対応件数が前年度15,957件から4,762件増加し、令和5年は20,719件となっている。

前年度から新設された脳神経外科の手術が今年度から本格的に開始され、ICU管理中から積極的な早期介入を行った。脳神経外科主催の勉強会の参加、脳卒中パスの標準化、脳卒中パス会議への継続参加も継続し、脳外科ワーキング会議の中で多職種との積極的な連携強化が図られている。

脳神経外科患者の実績も前年度660件であったのリハ件数が、令和5年は9.5倍の6250件となっている。脳血管疾患等リハビリテーション料の算定件数も昨年3196件から約2.7倍の8543件に増加しており、施設基準が算定数の低い「Ⅱの基準」であることが非常に残念に思われる。

療法士1人1日の単位数については、前年平均14.7単位から今年度は14.8単位と0.1の増加にとどまった。

業務内容の見直しから単位数が上がらない原因として、各診療科・各病棟から多職種で行なう算定条

件として必要なカンファレンスが多くなったことや患者対応数の増加によるカルテ記載やリハビリり必要書類作成の時間が増加している。この時間は、必要業務になるため業務時間内に終わるように調整によるものである。

時間外業務時間数の是正については、前年度、療法士 1 人 1 ヶ月平均 11.6 時間であったが、患者数の増加や書類業務の増加を考慮して業務時間内に必要業務として組み入れることにより、今年度は、1 人 1 ヶ月平均 10.7 時間となり、前年度より更に軽減することが出来、目標の 10 時間以下に近づく結果となった。

院外での活動は、千葉市の地域包括ケアシステム・自立促進ケア会議(美浜区開催)に WEB での参加を継続した。千葉圏域リハ・パートナー登録施設としての活動は、今年度は院内業務の増加で派遣が難しくなり、WEB 参加出来るケア会議の参加のみにとどまった。

## 5. 今後の目標

院内の今後の発展に向けた取り組みを継続すると共に、千葉市の病院・市職の役割として、千葉市地域活動への協力を出来る範囲で継続する。

- 業務の効率化を図るため、個々の業務内容を再調査、再評価する
- 各診療科や各病棟とのカンファレンスの内容を吟味して、できる限り一元化して行く
- R8 年新病院開設に向けた準備を始める
- 千葉市自立促進ケア会議(美浜区)への協力の継続
- 千葉市地域リハビリテーション活動支援事業への協力(美浜区)